

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		結核予防事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	健康福祉部	課長名	鍛野 文昭
	施策	15 健康づくりの推進				所属課	健康づくり推進課	担当者名	荒木 郁子
	基本事業	44 病気の早期発見				所属班	健康推進班	(内線)	2130
予算科目	会計一般	款	項	目	事業連番	法令根拠	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		
						成果優先度評価結果		: ④	
						コスト削減優先度評価結果		: ⑨	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	胸部レントゲン撮影より、結核を早期に発見する事業。①65歳以上の市民の方を対象に、菊池広域保健センター菊池養生園に委託し、養生園での撮影または、各地域のコミュニティを健診車で巡回する。②委託料は、1件あたり1,360円 ③健診時期は、6月～8月(菊池養生園)、10月～11月(コミュニティ巡回)、11月(菊池養生園)。昭和26年制定の結核予防法により健診の義務付けられていたが、平成17年度より結核予防法の改正があり、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律となった。
【業務の流れ】	①菊池広域保健センター菊池養生園と委託契約の締結 ②対象者特定のための電算処理 ③各会場の会場借用(公民館の場合は、区長へ場所借用依頼文を区長便にて送付) ④対象者へ通知発送 ⑤通知不要者の入力 ⑥健診結果発送 ⑦要精密検査者への受診勧奨 ⑧請求支払い事務
【主な予算費目】	役務費、委託料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・現在47ヶ所巡回しているが、場所によっては、受診者1～2人のところがあるため、見直しをする必要がある。 ・通知者の中に、国保人間ドック受診者が含まれているため、次年度からは、人間ドック入力時に削除する必要がある。 ・結核健診と肺がん検診との関連の検討が必要。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:	
①手段(主な活動)26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)		27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
菊池養生園での撮影または、各地域のコミュニティを健診車で巡回してのレントゲン撮影を実施する。		巡回箇所や健診の方法を見直す。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ア 受診者数	人	対象者(65歳以上)数の増加及び委託料単価の変更による増。	
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	
65歳以上の人で、医療機関等でレントゲン撮影をする機会のない人	人	→ア 65歳以上の住民で他に受診する機会のない方	人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	
健診を受診することにより、結核を早期に発見し、早期治療を受けることができる。	%	→ア 要精密者の受診率	%
	人	→イ 結核の発見者数	人
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
健診を受診し、結核の発見者数と要精密者の受診率が向上することで結核感染者が発見できる。			全体計画
			～年度
			0

(2)各指標・総事業費の推移	単位	24年度	25年度	26年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
①活動指標	人	2,514	2,428	2,800	2,434	2,600	2,700	2,800	2,800	
②対象指標	人	5,473	7,243	7,430	7,263	7,600	7,600	7,700	7,800	
③成果指標	%	75.0	56.3	100.0	90.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
投資入費量	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	3,739	3,687	4,027	3,846	5,175	3,400	3,400	3,400
	(A)事業費計	千円	3,739	3,687	4,027	3,846	5,175	3,400	3,400	3,400
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	8	6	1	5	1	1	1	1
延べ業務時間	時間	470	168	320	342	320	0	0	0	
(B)人件費計	千円	1,913	669	1,274	1,362	1,274	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	5,652	4,356	5,301	5,208	6,449	3,400	3,400	3,400	

事務事業名	結核予防事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	--------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 要精密者の受診率は達成していない。100%を目標に呼びかけていく。
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 結核や健診受診の必要性について周知をしていくことで受診者数の向上を図り、また、要精密検査の未受診者へ受診勧奨を行っていくことで、目標を達成できると考える。 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 健診受診者が多い会場へは、会場案内方法などの工夫が必要。 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 他に類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 最低限の事業費を充てているため。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 最低限の人件費で対応しているため。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 結核になる確率が高く、健診を受ける必要のある65歳以上の市民においては健診費用の負担はなく、それ以外の年齢の方で結核健診を希望する市民には、自己負担で健診の機会が確保されているため公平・公正である。 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 健診実施には専門的技術・知識を必要とするため、委託にて対応しており、役割分担は適正である。 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 しかし、本年度、発送時に時間を要したことがあったため、役割分担、手順の見直しを行い、検討を図る必要がある。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

健診の機会があることで、早期発見・早期治療、結核の集団発生予防にもつながる。結核や結核予防についての周知に努め、受診者数の増加や精密検査受診率の向上を図る。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						